

気になる
ニュースを
ピックアップ

伊豆の国 PICK UP NEWS

**「伊豆の国ミニトマト」を
地元の学校給食に寄贈**

伊豆の国果菜委員会は、「伊豆の国ミニトマト」240パックを地元伊豆の国市の学校給食に寄贈しました。2月17日に同委員会の西山稔委員長と阿部聖人副委員長が伊豆の国市教育委員会を訪問。増田貴史雄教育長に見本のミニトマトを手渡しました。

西山委員長は「伊豆の国市は県内一のミニトマト産地。栄養豊富なミニトマトを食べて、子どもたちに元気に育ってほしい」と話



増田教育長(左)に伊豆の国ミニトマトを渡す西山委員長(中央)と阿部副委員長(右)

**青壮年部が子どもたちに
シイタケの植菌体験**

増田教育長は「子どもたちが地域の産業を知る機会になる」と笑顔で受け取りました。ミニトマトは同市内の幼稚園や小・中学校で3月1日に提供されました。

青壮年部伊豆の国地区本部南支部は2月6日・10日、伊豆市立修善寺南小学校・中伊豆小学校でシイタケの植菌体験を開きました。同体験は子どもたちに特産の原木シイタケ栽培への理解を深めてもらうために例年開催しています。

6日の修善寺南小学校の体験には青壮年部員と3年生の児童が参加。児童たちは部員がほだ木に穴を開ける作業を見学した後、部員にやり方を教わりながら、金づちを使ってほだ木に種駒を打ち込む作業に挑戦しました。

参加した児童は「作業が楽しかった。シイタケができるのが楽しみです」と笑顔で話していました。同部員の野本達彦さんは「大切に育てて、おいしいシイタケを味わってほしい」と児童に呼びかけました。



1 青壮年部員に教わりながら植菌に挑戦する児童 2 パネルやほだ木を使って栽培方法を説明 3 植菌した原木に笑顔の児童



昼休業 実施のお知らせ

働き方改革に伴い、令和5年4月3日から一部支店で「昼休業(1時間)」を実施してまいります。組合員・利用者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

※ATMやネットバンキングは、昼休業時も通常どおりご利用いただけます。

伊豆の国地区 昼休業導入店舗一覧

支店名	昼休業時間
江間支店 南部支店 戸田支店	12:30～13:30
土肥支店	12:00～13:00
狩野支店	11:30～12:30

JAふじ伊豆全地区の昼休業導入店舗は冊子版広報誌20ページまたはホームページをご確認ください

移動金融店舗巡回スケジュール



令和5年4月から移動金融店舗「伊豆の国号」は下記のスケジュールで運行いたします。

	午前(9:00～10:30) *火曜日は9:30～10:30	午後(13:15～14:45)
月	旧原保支店(毎週)	奈古谷支店跡地(毎週)
火	旧八木沢支店(第1・3・5週) 小下田売店跡地(第2・4週)	旧浮橋支店(毎週)
水	旧藤坂支店(毎週) (メモリアルセンター本社敷地内)	本立野支店跡地(毎週)
木		
金	旧湯ヶ島支店(毎週)	原木支店跡地(第1・3・5週) 守山東観光駐車場(第2・4週)

*祝祭日は運休

※土地売却に伴い、北条支店跡地は巡回場所を守山東観光駐車場(伊豆の国市寺家130-6 北条支店跡地西側)に変更し、原木支店跡地と隔週で金曜日午後の営業となります

※ATMはございません。お通帳・お届け印をお持ちください。キャッシュカードでも入出金できます
※金額が多額な場合は受付できない場合があります

状況により、巡回場所が変更・中止になる場合があります。最新スケジュールはJAふじ伊豆ホームページをご確認ください



ホームページはこちら

夏野菜苗の特売会のご案内

夏野菜苗の特売会を開催します。ナスやキュウリ、トマト、スイカなどの苗を取りそろえています。

※戸田富農経済センターは予約注文となります
※苗を入れる箱などをご持参ください

場所	日にち	時間
小下田(菅沼出荷所)	4月12日(水)	9:00～10:00
旧八木沢支店	4月12日(水)	10:30～11:30
土肥富農経済センター	4月13日(木)	9:00～16:00
大仁富農経済センター	4月13日(木) 4月14日(金)	9:00～12:00
江間支店	4月20日(木)	9:00～11:00
修善寺富農経済センター	4月21日(金)	9:00～11:00
韭山富農経済センター	4月21日(金) 4月22日(土)	9:00～12:00

女性部会員になりませんか?

女性部伊豆の国地区本部では令和5年度女性部学習教室受講生や女性部グループ会員を募集しています。

■学習教室受講生募集

- ・おいしい手づくりセミナー
プロに学ぶ料理やパン・ケーキ、加工品など健康志向で普段の生活に役立つ料理教室です
- ・雑学講座 ひまわりセミナー
染物やフラワーアレンジメント、料理、体操など盛りだくさんの雑学講座です
- ・クッキングスクール(50才以下の方)
プロから学ぶ料理やパン・ケーキなど、旬の食材で手軽にできます。料理初心者の方大歓迎!



おいしい手づくりセミナー

・土肥ひまわりセミナー

- 小物や干支の手芸、料理など
- ・土日祝日加工品講座
平日参加できない方におすすめ。料理、手作りみそなど



生活に役立つ料理を学ぶ

■グループ会員募集

JAが多彩な活動の女性グループを応援します
参加条件/年間5回以上の活動を行う女性グループ。活動ノートの提出で年間5,000円を助成します

締め切り 学習教室5月12日(金) グループ会員5月31日(水)

申し込み・問い合わせ先

伊豆の国地区本部
地区組織課

055-949-7113



学習講座「ひまわりセミナー」新採り体験





県知事賞受賞の岩田さん(前列右から3人目)ら上位受賞者

伊豆地区いちご品評会 岩田さんが県知事賞

伊豆の国市主催の第37回伊豆地区いちご品評会が1月13日、韭山農村環境改善センターで開催されました。イチゴ「紅ほっぺ」122点、「きらび香」29点、「章姫」3点の計154点が伊豆の国母委員会の生産者から出品。審査の結果、岩田一さんが最高位の静岡県知事賞に輝きました。岩田さんは「次世代の若い生産者も活躍する中、自分も負けないように生産に励みたい」と話しました。

第37回伊豆地区いちご品評会

敬称略

- 金賞1席 県知事賞 岩田一
- 金賞2席 土屋雅宏
- 銀賞 堀井一雄・小松省二
- 銅賞 岩田芳和・遠藤誠
- 伊奈賢二・山口光雄
- 足立登・酒井広二
- 永倉玄太・重田智
- 高田祐樹・佐々木毅



形状、色沢、玉そろいなどを厳正に審査

安定生産・品質向上へ 柿・柑橘の剪定講習会開く

大仁営農経済センターは1月31日に柿の剪定講習会、2月10日に柑橘の剪定講習会を開きました。同講習会は適切な剪定方法を学ぶことで日当たりや作業性などを向上し、安定生産・品質向上を図るために毎年行っています。講習会では東部農林事務所生産振興課の神尾章子さんが講師を務め、講義と実技を交えて生産者に剪定方法を解説しました。



講師から剪定方法を学ぶ生産者ら

パン祖のパン祭で 全国高校生パンコンテスト

第17回パン祖のパン祭が1月21日、22日に韭山時代劇場で開催され、全国高校生パンコンテストが行われました。当JAも協賛し、331作品の応募があり、書類審査を通過した26人が実技審査に臨みました。最優秀賞は「ライ麦アロート」穀物の香り」を出品した静岡農業高校の杉山小雪さんが受賞。富士伊豆農業協同組合長賞には「古代米あんパン」を出品した大阪府立農芸高校の瀬浦末彩さんが選ばれました。



高校生パンコンテストの受賞者ら



山下市長から表彰状を受け取る飯田委員長(右)

果菜委員会 高橋さんが 農林漁業奨励賞を受賞

伊豆の国果菜委員会の高橋純哉さんが令和4年度「ふじのくに」未来をひらく農林漁業奨励賞を受賞しました。同賞は県が経営発展を目指して先進的な取り組みを行う事業者を称えるものです。高橋さんは高度な環境制御技術と土づくりによるミニトマトの取量・品質向上と周年栽培の実現への取り組みが評価されました。

2月2日には高橋さんと伊豆の国果菜委員会の西山稔委員長が山下正行伊豆の国市長に受賞を報告しました。



高橋さん(左)と西山委員長(右)が受賞報告

市の農業振興に寄与 母委員会が表彰受ける

伊豆の国母委員会は1月10日、伊豆の国市表彰式で功績表彰を受けました。同市の発展に寄与した個人や団体を表彰するもので、同委員会は高品質なイチゴを安定供給する仕組みを整え、農業振興に貢献したとして選ばれました。表彰式では同委員会の堀井一雄さんも功績表彰を受賞されました。飯田寿夫委員長は「今後も委員会として活発に活動し、地域貢献を果たしていきたい」と話しました。

青壮年部がワサビ勉強会 品種育成・販売の知識向上

青壮年部伊豆の国地区南支部山葵専門部会は2月24日、ワサビの生産技術向上に向けた勉強会を修善寺営農経済センターで開催しました。部員約20人が参加し、県伊豆農業研究センターわさび生産技術科の小高宏樹さんを講師に、ワサビの品種育成の概要を学びました。併せて、販売担当のJA職員が現在の市場出荷の仕組みや販売動向を資料を使って説明。産地維持のため、出荷量増を部員に呼びかけました。



講師が品種育成の概要を説明

三島西南地区女性部と交流



三島西南地区女性部と交流会を開催。イチゴ狩りや韭山野菜出荷場・三島青果の見学、意見交換会などで親交を深めました

人生ゲームでJA事業を体験



貯金や共済、営農などJAの事業を人生ゲーム形式で楽しく体験しました

バラのフラワーアレンジメント



牛乳パックを給水スポンジの代わりに使ってフラワーアレンジメント。地元産のバラを使って花の消費を応援!



伊豆の国
女性部
TOPICS